

# 洋野 うれしお

学校教育目標 「学びを広げ 自ら問い 高めあう」

洋野町立種市中学校  
令和6年度校報  
第2号  
令和6年4月23日

## 種中生徒会始動

自分たちで決めて、自分たちで続ける



### 生徒会入会式

緊張感のあるスタート  
今年の部活動紹介のMVPは誰？

4月10日（水）、生徒会入会式が行われました。昨年から全校生徒が一堂に会して行っており、例年通りまずは生徒会執行部が生徒会組織や行事、三大文化、専門委員会について説明し、後半は部活動紹介が行われました。

部活動紹介は、今年も大変盛り上がりました。3年生を中心に活動紹介が行われ、1年生も初めのうちは黙って見守りつつも、上級生の笑い声に包まれるうちに、大笑いしながら楽しく紹介を見ることができ、「中学校は厳しいだけでなく、楽しいところなんだな」と感じることができたのではないかと思います。

生徒会の取組は、中学校生活の根幹となります。委員会活動、係活動、部活動など生徒一人一人の役割をきちんと果たすことで学校生活が向上してきます。1年生も早くその組織の一員として活躍してほしいと思います。



執行部による活動説明



誓いの言葉 熊谷昂大君



緊張ぎみのスタートでしたが…



先輩たちの雰囲気に乗ってきました



記念撮影？の柔道部



吹奏楽部  
「東京スカパラダイスオーケストラ」



もはや名物！「卓球入ろうぜ」

### 前期生徒大会

令和6年度  
スローガン **自続**

4月19日（木）前期生徒大会が行われました。

今年度のスローガンは「自続」です。これには2つの意味が込められており、「自分から」という意識を大切にします。そして取組んできたことを「続ける」ということです。三大文化につい

での重点項目すべてに「自続しよう」という言葉が入れられ提案されました。

各学級からは多くの賛成意見が出され、委員会活動を含むすべての提案事項が賛成多数で可決されました。

また、今回は体育祭での「生活賞の取り組み」について話し合いがなされました。

「体育祭取り組み期間のみの活動になっていて、以降の生活に結び付いていない」「このままでは意味のない取り組みになってしまうのではないか」といった理由で、生徒会執行部が今後生活賞の取り組みを続けるか、なくすか、といった内容でした。

各学級では話し合いの内容を発表し、「続けるべき」「なくすべき」「意見が分かれた」といった発表がなされ、この話し合いをもとに、再度執行部で検討していくこととなりました。

「自分たちが生活する種中で、自分たちできまりを見直し、自分たちで守っていく」自律→自立に一歩近づく気配のする生徒大会となりました。



採決を行う2年生



生徒会長  
佐藤潤奈さん



質問・意見は発表者席で



議長の館石ゆあらさん  
柴田来藍さん



はじめての質問



提案や答弁を見つめる1年生

## 第77回盛岡市内一周継走大会

うれしい  
かわいい

男子34位 女子37位

# 種中選手大健闘！

4月21日(日)県営運動公園周辺コースにて、第77回盛岡市内一周継走大会が開催されました。本校からも男女それぞれ1チームずつ参加し、県内中学校の代表選手たちと健脚を競い合ってきました。選手の皆さんは昨年の冬から新チームとして練習を積み重ねてきました。

18日(木)には壮行式が行われ、そこで走路区間ごとに紹介された選手達・サポートメンバーは、一人一人立派に決意発表を述べました。

当日は天候が良く、まさに「スポーツ日和」と言える日で、沿道にもたくさんの応援の方が来ていました。今年最初の公式大会、夏の地区駅伝を目標にするチームですが、男女とも「まずは自己ベストを！」と走り切りました。男子は大健闘の34位。女子は昨年のタイムを10分以上上回り、夏への期待をうかがわせる37位。今年も種中駅伝のタスキ(伝統)がしっかりとつながったということが何よりもうれしく感じられる大会となりました。

